

4 紛争調整委員会によるあっせん

▶ あっせんとは

紛争当事者間の調整を行い、話し合いを促進することにより、紛争の解決を図る制度です。

紛争当事者の間に公平・中立な第三者として労働問題の専門家が入り、双方の主張の要点を確かめ、双方から求められた場合には、両者が採るべき具体的なあっせん案を提示します。

▶ 紛争調整委員会とは

弁護士、大学教授、社会保険労務士などの労働問題の専門家により組織された委員会であり、都道府県労働局ごとに設置されています。この紛争調整委員会の委員の中から指名されるあっせん委員が、紛争解決に向けてあっせんを実施します。

▶ 紛争調整委員会によるあっせんの特徴

- ①対象となる紛争……………労働条件その他労働関係に関する事項についての個別労働紛争が対象となります。(募集・採用に関するものは対象となりません。)
- ②手続きが迅速・簡便……………長い時間と多くの費用を要する裁判に比べ、手続きが迅速かつ簡便です。
- ③専門家が担当……………弁護士、大学教授、社会保険労務士などの労働問題の専門家である紛争調整委員会の委員が担当します。
- ④利用は無料……………あっせんを受けるのに費用は一切かかりません。
- ⑤合意の効力……………紛争当事者間であっせん案に合意した場合には、受諾されたあっせん案は民法上の和解契約の効力をもつこととなります。
- ⑥非公開……………あっせんの手続きは非公開であり、紛争当事者のプライバシーは保護されます。
- ⑦不利益取扱いの禁止……………労働者があっせんの申請をしたことを理由に、事業主がその労働者に対して解雇その他不利益な取り扱いをすることは法律で禁止されています。

手続きの流れ

➔ あっせんの申請

都道府県労働局総務部企画室(所在地一覧参照)、最寄りの総合労働相談コーナーに、あっせん申請書を提出

- ① 都道府県労働局長が、紛争調整委員会へあっせんに委任
- ② あっせんの開始通知
あっせん参加・不参加の意思確認
- ③ あっせん期日(あっせんが行われる日)の決定、あっせんの実施

あっせん委員が

- ・ 紛争当事者双方の主張の確認、必要に応じ参考人からの事情聴取
- ・ 紛争当事者間の調整、話し合いの促進
- ・ 紛争当事者双方が求めた場合には両者が採るべき具体的なあっせん案の提示

などを行います。

合意の成立などにより
紛争の迅速な解決

合意できない場合、打ち切り

他の紛争解決機関の
説明・紹介